

岩手県CT研究会報告

代表世話人 東山行雄

【今年度の経緯及び第5回研究会】

本年度の研究会活動は、県技師会における理事の改選、或いは理事会内における研究会の運営についてなどの議論が行われたため、世話人の招集が遅れ、7月に入ってからのお世話人会となり、それに伴って研究会の開催も遅れた。

技師会からは様々な形態で進められている研究会活動に対して均等な支援活動を継続していくため、支援する各研究会の運営方法について以下の2点の条件をだした

- ・各研究会は原則として技師会より独立した運営を行う（但し、案内等への技師会及び技師会長の名前の掲載は差し支えない）
- ・各研究会は基本的な条項を記した規約を設ける

CT研究会でもそれを受けての第1回目の世話人会となった。世話人会の席上で上野代表世話人より、理事の勇退を期に代表世話人も辞退したい旨の申し出があり、世話人一同留任をお願いしたが、本人の意思が固く、やむを得ず了承することとなった。上野前代表世話人には、研究会の立ち上げからこれまでの運営にご尽力いただき、紙面をお借りしてお礼を申し上げたい。その後新代表に東山を選任し、第5回研修会の内容の検討を行った。

第5回研修会には、昨年講師に依頼し、研究会開催直前に講師の事情からキャンセルとなった、岩手医科大学、医学部、放射線医学教室助教授の吉岡邦浩先生に再び講師を依頼することで一致し、スケジュールの調整を行った。また、今回初めての試みとして、今までフィルムで行ってきたカンファレンスを参加者全員で共有、検討できるようプレゼンテーション形式で行う事とし、世話人から県内4地区の発表者の推薦をお願いした。平成18年10月7日盛岡日赤記念講堂において第5回研究会を開催した。

第5回岩手県CT研究会プログラム

日時 平成18年10月7日 14:00～17:10

場所 盛岡赤十字病院 記念講堂

参加人数 50名

プログラム

13:30 受付

14:00 開会

総司会 藤村貴順（盛岡日赤病院）

14:00 挨拶

14:10 症例検討会

座長 東英彦（県立二戸病院）

「当院におけるPACS運用の紹介」

盛岡市立病院 沢内 功

「64列MSCTにおけるヘリカルピッチと画質の関係について」

県立大船渡病院 佐々木志穂

「仮想内視鏡による胃癌の壁外浸潤の評価」

県立久慈病院 佐々木卓

「精神科のCTについて」

三陸病院 清水浩明

発表 10分 質疑応答 5分 4分

15:10 休息

15:20 特別講演

演題 「心臓CT.これまで学んだこと」

- コンピテンシーとしてのマルチスライスCT -

座長 上野秀昭（総合水沢病院）



特別講演の吉岡邦浩岩手医科大学助教授

講師 吉岡邦浩 先生（岩手医科大学医学部放射線医学講座 助教授）

16:50 フィルムカンファレンス

司会 駒木俊明（せいいてつ記念病院）

フィルム提供 盛岡赤十字病院

17:10 閉会

研究会当日は、風雨が強い悪天候の日であり、参加者の出足が心配されたが、吉岡先生人気もあって、予想以上の50人の参加者があった。症例発表は初めてのこともあり、“臨床症例を持ち寄る”というこちらの思惑通りの内容にはならなかったが、各施設の発表はすばらしく、研究会全体に手作りの味も出て、参加者の共感も得られたのではないかと考えている。今回発表していただいた施設にはこの場をお借りしてお礼を申し上げる。

また、特別講演の吉岡邦浩先生は、ご存知の通り全国的にご高名であり、特に心臓領域のCTに

おいては、慶応大学の栗林先生、陣崎先生等と並んで日本を代表する先生の一人である。座長の上野氏からは、放射線医学会では怪物吉岡と呼ばれていると紹介され、今回も心臓領域CTの最先端の内容を我々の目線でわかりやすく話され、得意



盛岡日赤からの症例をカンファレンス

のユーモアを交えながらの講演は、最後には技師のコンピテンシー（生存）まで及び、怪物の一端を垣間見るような充実した内容であった。また、講演全体に先生の知識、センス、愛情があふれる講演であった。

フィルムカンファレンスは、盛岡日赤から提供があり、熱心なカンファレンスが行われた。毎回貴重な症例と基礎的な読影をレクチャーしていただく盛岡日赤（厚谷会員他）には感謝申し上げたい。

【今後の方針】

CTは臨床をはじめとして、保守管理、被曝、造影剤、基礎理論、最新テクノロジー、画像処理、画像ネットワーク、マネージメント等多くの要素を含むジャンルであり、また、参加者の所有する機種も多様であることから研究会では様々な研修内容が求められる。しかしながら無計画な研修は参加者の混乱を招く危険性もあり、計画性をもって長期的に展開していく必要がある。

現在の臨床現場では、CTなくして診断は不可能であり、装置の性能の向上と共に臨床現場での守備範囲も広がり、多岐にわたる内容が要求される。我々は、その需要に十分に答えていく必要がある。研修は必要不可欠である。同時に、その内容は施設、機種を問わず、参加者全員が共有でき、研修翌日から応用可能であることが望ましい。従って、今後の研究会は年2回開催のうち1回は、臨床を中心とした研修とし、臨床医などの講演と症例検討等を実施、2回目は他のジャンルを順次

テーマにする形をとりたいと考える。尚、研究会に対する意見や研修内容に関する意見などお持ちの方は、担当地区の世話人或いは、
E-Mail fmh-rad@echna.ne.jp
(藤沢町民病院放射線科：東山)までお寄せいただきたい。

【世話人の変更】

上野代表世話人の勇退に伴い世話人を下記の通りとした。

県北地区

東 英彦 県立二戸病院

盛岡地区

羽成 孝夫 岩手医科大学付属病院

藤村 貴順 盛岡日赤病院

(会計)

安藤 和行 県立中央病院

三陸地区

駒木 俊明 せいてつ記念病院

中部・県南地区

東山 行雄 国保藤沢町民病院

(代表世話人)

【規約の発行】

岩手県CT研究会は以下の規約を設け第5回研究会の行われた平成18年10月7日より施行している。

岩手県CT研究会 規約

【名称】

第1条 本会は岩手県CT研究会と称する。

【目的】

第2条 本会は「岩手県におけるCTの技術及び知識の向上」をテーマに研究会を開催し、CTに関する情報交換、知見の普及、新しい技術・知識の習得を实践する事によって、日常診療の向上を図り、所属施設及び地域医療に貢献する事を目的とする。

【会員】

第3条 本会は社団法人岩手県放射線技師会会員(正会員。特別会員・賛助会員)をもって会員とする。(ただし、研究会への参加は、その限りではない)

【組織】

第4条 本会に代表世話人(1名)、世話人(数名)、会計(1名)を置く。

第5条 世話人は代表世話人が任命し、世話人会で承認する。但し、代表世話人

が不在の場合は、前代表世話人が任命する。

第6条 代表世話人は、世話人より互選し、世話人会で決定する。但し、代表世話人が在任している場合は、世話人会で承認し、世話人、代表世話人不在の場合は、前世話人の任命した世話人より互選する。

第7条 代表世話人及び世話人の任期は原則として特に定めない。

第8条 世話人会における世話人の交通費は地区毎に次の通り定め、研究会で負担する

開催地区

1000 円

開催地区に隣接する地区

2000 円

(但し三陸地区は隣接地区の開催であっても 3000 円)

その他の地区

3000 円

【活動】

第9条 本会は、年2回本会の目的に沿った研究会を開催する。開催要項は世話人会で決定し、会員全体に周知する。

第10条 研究会の開催(年2回)は、原則として盛岡地区で1回、その他の地域で1回開催するものとする。

第11条 研究会へは、会員以外の参加も認めるものとする。

第12条 活動内容は、社団法人岩手県放射線技師会学術担当理事に報告するものとする。

【運営】

第13条 会の運営に必要な事項は、世話人会で協議決定するものとする。

第14条 世話人会は、必要に応じ代表世話人が召集する。

【会費】

第15条 本会は、研修会の参加費をもって会費とする。

第16条 研修会の参加費は、会員 500 円、(正会員。特別会員・賛助会員)その他 1000 円とする。

付則：この規約は世話人会の決定により改廃することが出来る。

：この規約は平成 18 年 10 月 7 日より施行する。